

【第2次札幌新まちづくり計画 平成21年度進行管理評価結果】

『政策目標3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街』

重点課題2 障がい者の自立支援の促進

< 施策の基本方針 >

障がいのある人々が、持てる能力を十分に発揮し、福祉サービスの支援を受けながら、自らの意思で地域の中で自立と社会参加の実現を図れるよう、障がい者グループホームをはじめとした居住環境の整備を進めます。また、障がいのある人を雇用する民間企業等への就労促進策を拡充するなど、自立支援の促進を図ります。

事業費の進捗率

77.1% 算出式: (H19決算額 + H20決算見込額 + H21予算額) 9,367,650千円 / (計画事業費) 12,143,000千円

施策別の主な取組内容

19～20年度(実績)

- 【施策1】共生に根ざした健やかな地域生活の支援
 - 「高齢者・障がい者生活あんしん支援センター」開設(H20.10～)
 - グループホーム等新規設置数 52カ所(補助35カ所)
 - 相談支援事業所 B型・C型各2カ所増(全14カ所)
 - 住宅入居等支援事業開始(H19.10～、全5カ所)
 - 「精神障がい者地域生活移行支援事業」開始(H20年度)
- 【施策2】協働による障がいのある人への就労支援
 - 「元気はっけん(派遣)」事業開始(H21.2～)
 - 障がい者協働事業実施事業所数 7カ所(H20障がい者雇用数45人)
 - 元気ショップ2号店開設等調査(H20年度)
 - 「障がい者地域活動支援センター(就労者支援型)」設置(H20.10～)
- 【施策3】障がいのある人にもやさしいまちのバリアフリー化
 - 「優しさと思いやりのバリアフリー」のルール策定部会 4回開催
 - 地下鉄駅エレベーター等設置(南郷7丁目駅ほか4駅)
 - ユニバーサルデザインの公園整備(72公園)
 - 地下鉄駅施設のバリアフリー化(北18条駅ほか14.5駅)

21年度(予定)

- 【施策1】共生に根ざした健やかな地域生活の支援
 - 「高齢者・障がい者生活あんしん支援センター」の運営
 - グループホーム等新規設置数 26カ所(補助12カ所)
 - 「相談支援事業所」の相談支援体制強化(拠点事業所の設置、職員体制の強化等) 事業所1カ所増(全15カ所)
 - 「精神障がい者地域生活移行支援事業」の実施体制強化(地域体制整備コーディネーターの設置等)
- 【施策2】協働による障がいのある人への就労支援
 - 「元気はっけん(派遣)」事業の通年実施
 - 障がい者協働事業実施事業所数 8カ所(障がい者雇用数50人)
 - 元気ショップ2号店等整備方針の検討・策定
- 【施策3】障がいのある人にもやさしいまちのバリアフリー化
 - 「優しさと思いやりのバリアフリー」のルール策定部会 4回開催
 - ユニバーサルデザインの公園整備(36公園)
 - 地下鉄駅施設のバリアフリー化(南北線さっぽろ駅ほか5駅)

市民・企業等との協働の状況

- 市民との連携、市民参加
 - 福祉除雪事業：多くの住民が地域協力員として参加(20年度：2,625人)
 - 福祉と多世代のふれあい公園づくり事業：ワークショップの開催(白石東公園、キッズコーナー)
- 企業等との連携、協働
 - 福祉除雪事業：地域の企業、学校、福祉施設、NPOなど様々な団体が参加(20年度：225団体)
 - 「元気はっけん(派遣)」事業：民間企業(人材派遣会社)を活用した事業展開
 - 障がい者協働事業：民間企業における障がいのある人を雇用した新規事業の実施や事業拡大
- 市民・企業等が参加しやすい環境づくり
 - 障がい者協働事業：法定事業(就労継続支援A型)の人数要件等の緩和や民間企業の設置も認めることによる参加しやすい仕組みづくり
 - 福祉と多世代のふれあい公園づくり事業：地域や福祉施設が楽しみながら参加できるよう公園内から発生した樹木を利用してグループで花壇の名前を作成する取組や子育て中の保護者が参加しやすいように子育てサロンの開催中に実施するなどワークショップの実施方法を工夫

評価(成果)と課題

- 【施策1】共生に根ざした健やかな地域生活の支援
 - 居住環境の整備(グループホーム等の拡充など)、相談支援・療育支援体制の強化、権利擁護に係る総合的な窓口の設置、精神障がい者地域生活移行支援事業等様々な取組を実施～身近な地域における健やかで安心した生活を支えるための支援体制の着実な整備
 - 個々のニーズに沿ったきめ細かなサービスを提供できる体制の整備～サービスの質の向上も図る。
 - 地域自立支援協議会を核とする地域のネットワークづくりの一層の推進～地域での支え合いが重要
- 【施策2】協働による障がいのある人への就労支援
 - 法定事業(就労移行支援・就労継続支援)のほか、障がい者協働事業の拡充や「元気はっけん(派遣)」事業、「地域活動支援センター(就労者支援型)」などの新たな取組～就労支援体制の一層の整備
 - 昨今の厳しい経済状況を踏まえた「就職」及び「雇用の安定」の両面からの支援の積極的推進～一般就労支援
 - 「元気ショップ」を中心とした授産製品の販路拡大～福祉的就労支援(授産工賃向上、一般就労移行促進)
- 【施策3】障がいのある人にもやさしいまちのバリアフリー化
 - 地下鉄駅エレベーターの設置など公共施設のバリアフリー化、福祉施設と連携した公園づくり、人の目で確認していく新たなバリアフリーのルールづくりの議論の本格化～誰もが安心して、安全で快適に暮らせるまちづくりの進展
 - 公共施設の計画的なバリアフリー化 新たなバリアフリー化のルールの実効性確保 公共交通事業者、地域住民などの一層の連携・協働

今後の重点取組

- 障がいのある人の自立促進～障がいのある人のニーズに応じたきめ細かな支援が重要
- 既存事業の着実な実施～地域生活支援・就労支援に係る体制の一層の充実
- 障がいの種別や重さにかかわらず安心して地域生活を送ることができるよう、必要とされる施策の検討・実施
- 相談支援事業所の一層の拡充及び地域自立支援協議会を核とする地域のネットワークづくりの推進～地域福祉力の向上

主な達成目標の状況

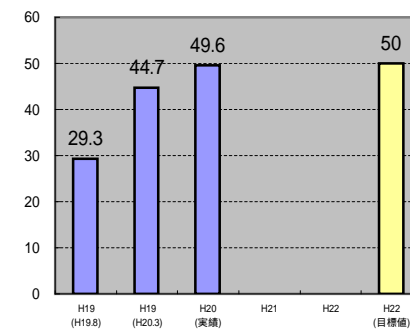
達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H20(実績)
[福祉除雪]利用世帯の満足度	90%以上(H22)	90.2%	(集計中)
[高齢者・障がい者の生活あんしん支援]総合的な相談窓口の設置	設置(H20)	検討	設置
社会福祉協議会の法人後見事業の実施	実施(H20)	検討	実施
[精神障がい者退院促進支援]事業参加病院数(累計)	36病院(H22)	-	5病院
[障がい者雇用マッチング]本事業により企業などに派遣される障がい者数	5人/日(H22)	-	-
元気ショップ2号店の開設	開設(H22)	-	調査
障がい者地域活動支援センター(就労者支援型)設置箇所数	1カ所(H22)	-	1カ所
[知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成]講座を受講した障がい者数(累計)	25人(H22)	-	20人
利用者5,000人/日以上>JR駅バリアフリー化(累計)	12駅(H22)	9駅	10駅
ノンステップバスの導入台数(累計)	75台(H22)	51台	63台
大通バスセンター耐震化	完了(H21)	-	一部完了
エレベーター未設置の地区センター数	7カ所(H22)	10カ所	9カ所
優しさと思いやりのバリアフリーのルール策定	策定(H22)	検討	検討
[ユニバーサルデザインの公園づくり]身障者対応便所の整備率	30%(H22)	20%	25%
バリアフリー公園数(累計)	4カ所(H22)	2カ所	3カ所
[誰もが歩きやすい歩行空間ネットワーク]重点整備地区バリアフリー化率	100%(H22)	71%	88%
あんしん歩行エリア等の形成数	12エリア(H22)	9エリア	10エリア

主な施設・サービスの整備水準

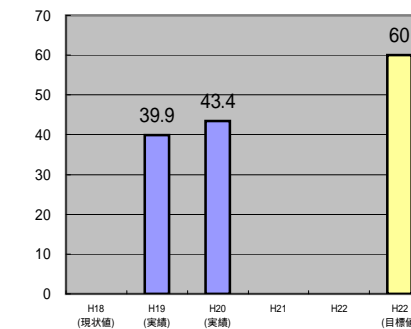
施設(サービス)名	整備水準	H18(現状)	H20(実績)
障がい者グループホーム等	268カ所(H22)	164カ所	216カ所
障がい者相談支援事業	相談支援:16カ所(H22) 住宅支援:7カ所(H22)	相談支援:10カ所 住宅支援:0カ所	相談支援:14カ所 住宅支援:5カ所
障がい児等療育支援事業	8カ所(H22)	5カ所	7カ所
障がい者協働事業	10カ所(H22)	3カ所	7カ所
地下鉄駅エレベーター等設置	47駅(H22)	43駅	47駅
地下鉄駅施設のバリアフリー化	49駅(H22)	22駅	37.5駅

成果指標等の動向

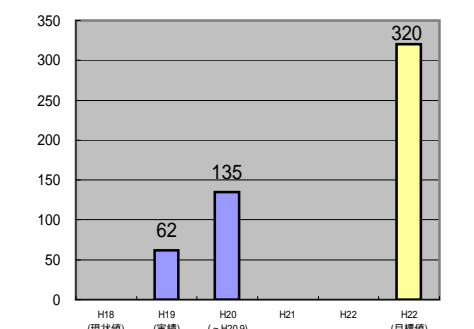
まちのバリアフリー化が進んでいると感じる障がいのある人の割合(単位:%)



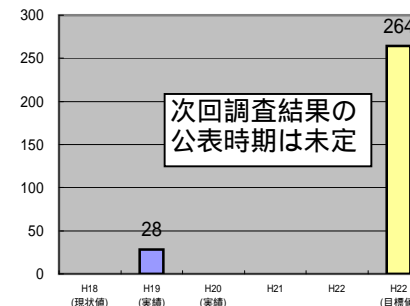
まちのバリアフリー化が進んでいると感じる人の割合(単位:%)



入所施設の入所者の地域生活への移行者数(H19～22累計)(単位:人)



入院中の精神障がい者の地域生活への移行者数(H19～22累計)(単位:人)



福祉施設から一般就労への移行者数(単位:人)

